

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52321	乳児保育 I Infant care	彦坂 美希	✓	専門	2	選択	1年後期

科目の概要

乳児保育の理念と基礎理論について学び、保育士の役割について考える。乳児が健やかに伸び伸びと育つための望ましい乳幼児期の保育活動について、生命の維持と情緒の安定という視点を軸としながら理解する。乳児の身体的発達や一日の生活についても理解し、保育士の関わり方や支援方法を具体的に学ぶ。さらに、乳児を取りまく家庭や地域の環境について、問題点と今後の課題について学修する。
 ★保育者としての実務経験があり、保育の専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施する。
 これらの内容はディプロマ・ポリシー③④⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する。 ⑤ 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解することができる。	① 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について説明できる。(DP③) ② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について説明できる。(DP③) ③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について説明できる。(DP③) ④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について説明できる。(DP④) ⑤ 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について説明できる。(DP⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳児保育の状況を理解し、課題を見極めることができる。
	計画力	作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、期日までに計画を進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ発表の際、聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）話すポイントが整理され発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「講義で学ぶ乳児保育」 小山朝子 編著 わかば社 1600円＋税
 参考文献：適宜プリントを渡す。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：子どもの保健・保育の心理学・子育て支援等 専門科目すべてに関連する。
 資格との関連：保育士（准学校心理士）

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと 講義中に小テストをするので、欠席の場合、減点対象となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち 授業に臨むこと。 授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。（記述していない場合は減点対象）

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解できているか確認する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。 	
					②	✓		
					③	✓		
					④			
					⑤			
		レポート		50		①		<ul style="list-style-type: none"> ・「乳児保育」に関する内容を広く調べ、資料の作成能力を評価する。 ・小課題を複数出題する。実施時期、テーマは授業中に指示をする。 ・まとめ「0. 1. 2歳児の発達表を作成して学んだこと」提出日 後日連絡
						②		
						③	✓	
						④	✓	
						⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20		①		<ul style="list-style-type: none"> ・各回の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。グループ討議のメモ用紙(10点)、プレゼンテーションの成果(10点) ・1分間の発表。 ・0, 1, 2歳児を対象にした表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
						②		
						③	✓	
						④	✓	
						⑤		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたか評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力) 相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができているか評価する (傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する (規律性) 授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルに加え、S：社会人基礎力のうち7修得できている。A：社会人基礎力が6修得できている。</p> <p>①乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。</p> <p>②保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。</p> <p>③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。</p> <p>④乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する。</p>	<p>到達レベルに加え、S：社会人基礎力のうち7修得できている。A：社会人基礎力が6修得できている。</p> <p>①乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。</p> <p>②保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解することができる。</p> <p>③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解することができる。</p> <p>④乳児保育における職員間の連携・協働及び保護や関係機関との連携について理解できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 乳児保育の目的と役割 (乳児保育の目的と役割、実施体制などについて)を知る。	講義	乳児保育とは何か、乳児保育の目的と役割について理解する。	(復習) テキスト p 10-17を読み、養護と教育の一体性と「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の図を記載し理解する。	180	主体性 実行力 規律性
2	乳児保育の基本(乳児保育の背景や歴史的変遷、子育て支援、地域や家庭とのつながり)について知る。	講義	乳児保育の基本を概ね理解し、記述することができる。	(予習) テキスト p 18-27を読み、乳児保育の歴史的変遷について、まとめておく。 (復習) 多様な場における乳児保育の展開について、まとめる。	180	主体性 傾聴力 規律性
3	0・1・2歳児の発達 (0・1・2歳児の子ども の主な発達)について知る。	講義	0・1・2歳児の生得的な特性及び心の発達について概要を理解し、概ね説明 記述することができる。	(予習) テキスト p 28～34を読み、「安心の輪」について理解できない点、疑問点等をまとめておく。(復習) 0・1・2歳児の発達表に学んだ内容を記載する。	180	主体性 規律性
4	乳児(0歳児)の保育内容について知る。	講義	0歳児の発達の特徴、発達特徴過程を理解し、概ね説明記述することができる。	(予習) テキスト p 36～44を読み、「ねらいと内容」を読み理解できない点、疑問点等をまとめておく。(復習) 乳児の保育内容の記載のイメージ図を作成する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性
5	1歳以上3歳未満児の保育内容について(保育所保育指針から)知る。	講義	1歳以上3歳未満児の保育内容について(保育所保育指針から)について概要を理解する。	(予習) テキスト p 48～63を読み、5領域のねらいをまとめておく。 (復習) 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容・内容の取扱いについて図表にまとめる。	180	主体性 課題 発見力 規律性 ストレス コントロール力
6	乳児の生活と遊びの基本的事項(乳児の生活と遊び、健康や安全、防災対策について)について知る。	講義	乳児の生活と遊びの基本的事項(乳児の生活と遊び、健康や安全、防災対策について)について概要を理解する。	(予習) テキスト p 64～81を読み、デイリープログラムについて理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 乳児保育における防災対策についてまとめる。	180	主体性 課題 発見力 規律性
7	乳児の生活の基本(食事・睡眠と休息)について学ぶ。	講義	乳児の生活の基本(食事・睡眠と休息)について概要を理解する。	(予習) テキスト p 82～89を読み、離乳食の進め方について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 食事の発達に合った進め方、SIDSについて理解をまとめる。	180	主体性 課題 発見力 状況把握力
8	乳児の生活の基本(排泄・トイレトレーニング・着脱・清潔)について学ぶ。	講義後、フィードバックする。	乳児の生活の基本(排泄・トイレトレーニング・着脱・清潔)について概要を理解する。	(予習) テキスト p 90～101を読み、着脱、清潔に関する発達の図から理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 排泄・着脱・清潔の子どもの育ちを学んだことや資料を基に発達表に記載をする。	180	主体性 課題 発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳児の遊び（各年齢ごとの乳児の遊びや適したおもちゃ）について学ぶ。	講義	乳児の遊び（各年齢ごとの乳児の遊びや適したおもちゃ）について概要を理解できる。	（予習）テキストp102～115読み、乳児の遊びについて、グループ討議に自分なりの意見を述べるができるように、遊び等を調べておく。 （復習）発達表に学んだ内容を書き写す。	180	働きかけ力 創造力 発信力
10	乳児の遊び（各年齢ごとの乳児の遊びや適したおもちゃ）について学ぶ。各グループ、発達表を作成し発達や遊びについて発表する。各グループの発表内容を振り返り、各自意見や感想を記述し提出する。	グループ討議 グループ発表	各グループの発表を傾聴することができる。乳児の発達過程や援助の知識を得て、自分なりの意見や感想の記述することができる。	（予習）グループ討議に自分なりの意見を述べるができるように、発達表に必要な遊び等を調べておく。 （復習）発達表完成させる。次週提出。	180	課題発見力 発信力 状況把握力
11	乳児保育の環境構成（乳児の年齢ごとの保育室での環境構成）について学ぶ。	講義	乳児保育の環境構成（乳児の年齢ごとの保育室での環境構成）について概要を理解する。	（予習）テキストp116～123読み、0.1. 2歳児の保育室の環境図から保育室の違いを調べておく。 （復習）0.1. 2歳児の保育の生活と遊びと遊びの場の違い理解したことと保育者の配慮についてまとめる。	180	課題発見力 発信力 状況把握力
12	乳児保育における全体的な計画（乳児保育での全体的な計画と指導計画）について学ぶ。	講義 事例検討	乳児保育における全体的な計画（乳児保育での全体的な計画と指導計画）について理解し、保育内容及び方法を考え、計画（例）に反映させる。	（予習）テキストp124～133を読み、全体的な計画と指導計画の位置づけについて理解できない点、疑問点をまとめておく。（復習）個別指導計画（案）を作成する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
13	乳児保育における子育て支援（乳児保育での子育て支援や保護者への対応、支援の実際について）考える。	講義	乳児保育における子育て支援の実際や保護者や関係機関との連携の基本的な在り方について理解できる。	（予習）テキストp134～143を読み、出産前後の母親の生活の変化について理解できない点、疑問点をまとめておく。 （復習）自分の住んでいる地域の子育て支援について調べ、内容についてまとめる。	180	実行力 課題発見力 柔軟性
14	乳児保育における連携（乳児保育での職員・家庭・地域での連携）、乳児保育の重要性、保育者としての専門性と資質向上について学ぶ。	講義	乳児保育における連携（乳児保育での職員・家庭・地域での連携）及び乳児保育の重要性、保育者としての専門性と資質向上について概要を理解する。	（予習）テキストp144～153を読み「全国保育士会倫理綱領」についてまとめておく。 （復習）配布された資料を基に学びを深め、自分の目指す乳児保育を整理する。	180	課題発見力 傾聴力
15	これまでの授業内容を振り返り、学びの確認と共に今後の課題を発見する。	オンデマンド	これまでに学修した乳児保育の基本や乳児発達過程と援助の実際について、概ね説明することができる。	（予習）自分の作成した発達表やこれまでの学修内容を見直し、理解できていない点について確認する。	180	主体性 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52322	乳児保育Ⅱ Infante care Ⅱ	酒井昌子	✓	専門	1	選択	2年後期

科目の概要

乳児保育の理念と基礎理論について学び、保育士の役割（真心、努力、奉仕、感謝）について考える。乳児が健やかに伸び伸びと育つための望ましい乳幼児期の保育活動について、生命の維持と情緒の安定という視点を軸としながら必要なスキル・リテラシー・教養等を理解し知識、技能を身に付ける。乳児の身体的発達や一日の生活等についても理解し、保育士の関わり方や支援方法について具体的に学ぶ。さらに、乳児を取りまく家庭や地域の環境や国際社会について、問題点と今後の課題について学ぶ。
 ★保育者としての実務経験があり、保育の専門的知識や技術を活かした演習を行う。
 これらの内容はディプロマ・ポリシー①②③④⑤に相当する。

学修内容	到達目標
① 3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わり方の基本的な考え方について理解する。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解し応用できる。 ③ 乳児保育における配慮の実践について知り、具体的に説明できるようにすることを目的とする。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について学び、具体的に計画する。 ⑤ 乳児保育における職場と地域、国際社会のつながりを理解し、課題解決する。	① 3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わり方の基本的な考え方について、述べるようになる。(DP②) ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解し応用することができる。(DP③) ③ 乳児保育における配慮の実践について具体的に理解し、専門的知識や技能を身に付けていくことができるようになる。(DP③) ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について学び、具体的に計画することができるようになる。(DP④) ⑤ 乳児保育においても職場と地域、国際社会を理解し、問題解決に努力し貢献できるようになる。(DP①⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業やテキストのみでなく、様々な情報を活用し、乳児向けの遊びや言葉かけについて知識を深め、課題である保育計画に活用していくことができる。
	働きかけ力	自分の意見の異なる他者に対しても、積極的に語りかけ、対話をしていく努力をすることができる。
	実行力	授業で学んだ内容を、乳幼児対象のボランティア活動等の実践活動に活かしていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳児の一日の保育計画を作成し、計画の実現に必要な今後の課題を見出ししていくことができる。
	計画力	課題等に計画的に取り組み、提出期限を守ることができる。
	創造力	乳児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べるることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。オンデマンド配信を傾聴し、自分の考えをまとめ、表現することができる。
	柔軟性	グループ討論等において、他者の言動を受け止め、他者を援助していくことができる。
	状況把握力	グループ討論等において、自分の役割を判断し、的確に表現することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	感情的に意見が対立した場合も、自身の感情を抑制し、冷静になる方法を持っていて、討議することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：『養成校と保育室をつなぐ理論と実践。見る・考える・創りだす乳児保育1・2』萌文書林
 参考文献：『やさしい乳児保育』青踏社 編者「神蔵幸子・金允貞」
 『保育所保育指針』監修汐見稔幸『0.1.2愛着関係ははぐくむ保育』学研『0.1.2.手作りおもちゃ64』学研『赤ちゃんのわらべうたあそび』チャイルド社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「子どもの保健」「子どもの心理学」「子育て支援」等、専門科目すべてに関連する。
 資格との関連：保育士（准学校心理士）

学修上の助言	受講生とのルール
・授業以外で乳児に接する機会を持つ努力をすること。 ・乳児を取り巻く社会状況について、日常的に目を向ける意識を持つこと。	・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・筆記試験・提出物・授業態度(出席状況)等によって評価する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の理念や基本について小テストを実施する。 ・乳児の各発達段階の特徴や援助方法について小テストを実施する。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
		レポート		40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・0.1.2歳児の各DVD視聴感想レポートを提出することができる。 ・乳児の月の保育計画を作成し、提出することができる。 ・乳児の一日の保育計画を作成し、提出することができる。 ・乳児の発達段階に応じたおもちゃを考え、配慮等の計画を作成し提出することができる。 ・オンデマンド配信を視聴して、自分の考えを整理し、レポートを提出することができる。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の発達段階に応じた手遊びや歌あそび、おもちゃ等を考え、グループでもディスカッションに参加し、グループ発表をすることができる。 ・乳児の一日の保育計画を作成し、発表することができる。 		
			②	✓			
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> ・授業やテキストのみでなく、様々な情報を活用し、乳児向けの遊びや言葉かけについて知識を深め、課題である保育計画に活用していくことができる。 <small>（実行力）</small> ・授業で学んだ内容を、乳幼児対象の様々な実践活動に活かしていく。 <small>（課題発見力）</small> ・乳児の一日の保育計画を作成し、計画の実現に必要な今後の課題を見出し、いくことができる。 <small>（創造力）</small> ・乳児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。 <small>（説得力・傾聴力）</small> ・授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることができ、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。 <small>（規律性）</small> ・集団で学習する意味を理解し、自己及び他者の人権と学習権利を遵守することができる。 ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について十分に理解できる。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的かつ十分に理解できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的かつ十分に理解できる。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的かつ十分に理解できる。	① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について概ね理解できる。 ② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、概ね理解できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について、概ね具理解できる。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、概ね理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	乳児保育の基本について学ぶ。子どもと保育士等との関係の重要性と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについて理解する。	演習後	乳児保育の基本について学ぶ。子どもと保育士等との関係の重要性と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについて理解できる。	(復習) 乳児保育の基本についてノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性
2	子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて学ぶ。子どもの体験と学びの芽生えについて理解する。	演習	子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて理解できる。	(復習) 子どもの主体性や育ちについて、ノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性
3	子どもの1日の生活の流れと保育の環境、こどもの生活や遊びを支える環境の構成について学ぶ。	演習後	子どもの1日の生活の流れと保育の環境、こどもの生活や遊びを支える環境の構成について理解できる。	(復習) 子どもの1日の生活の流れと保育の環境等について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性
4	乳児の過程(第1期～2期 6ヶ月未満)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊びについて学ぶ。	演習 DVD視聴	6か月未満児の乳児の発達の特徴と、援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月未満児の乳児の発達の特徴について読み、質問を考える。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	乳児の発達過程(第3期～4期 6か月以降～1歳3か月未満児 中期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・保護者との連携等)について学ぶ。	演習後	6か月以降～1歳3か月未満児中期の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月以降～1歳3か月未満児(中期)の発達の特徴について読み、質問を考える。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	乳児の発達過程(第5期～6期 6か月～1歳3か月未満児 後期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携等)について学ぶ。	演習 DVD視聴後	6か月～1歳3か月未満児(後期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの6か月～1歳3か月未満児後期の発達の特徴について読み、質問を考える。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	乳児の発達過程(第7期～8期 1歳3か月～2歳児 前期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携等)について学ぶ。	演習 DVD視聴後	1歳3か月～2歳児(前期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストの1歳3か月～2歳児(前期)の発達の特徴の発達の特徴について読み、質問を考える。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	乳児保育における配慮の実際を学ぶ。子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮、集団での生活における配慮、環境の変化や移行に対する配慮について具体的に理解する。	演習後、 フィードバックする。	乳児保育における配慮の実際を具体的に理解できる。	(復習) 乳児保育における配慮の実際について、テキストを通して復習し、まとめる。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳児の発達過程(第9期 2歳児 後期)と援助の実際(情緒安定・保健安全・食事・排泄・睡眠・遊び・保護者との連携等)について学ぶ。	演習 DVD視聴	2歳児(後期)の発達の特徴と援助の実際について理解し、概要を説明することができる。	(予習) テキストを読み2歳児(後期)に該当する箇所を確認し、内容を理解した上で記述できるようにする。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
10	長期的な指導計画と短期的な指導計画、個別的な指導計画と集団の指導計画について理解する。	演習後	乳児保育における計画の実際について具体的に理解できる。	(復習) 乳児保育における計画の実際について、ノート内容及びテキストを復習し、まとめる。	45	主体性 計画力 傾聴力 規律性
11	グループごとに対象とする乳児の月齢を設定し、発達の特徴をまとめ、発達を促す遊びを考え、制作する。	演習 グループ討議 グループ制作	協働意識を持って、グループ討議ができる。他者の意見を謙虚に受け止める。グループワークでの自己コントロール能力を持つことができる。	(予習) グループ討議に自分なりの意見を述べるように、遊び等を調べておく。	45	働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
12	各グループごとに考案した乳児対象の遊びや環境設定について発表する。各グループの発表内容を振り返り、各自意見や感想を記述し提出する。	演習 グループ発表	各グループの発表に敬意を持ち、傾聴することができる。乳児の発達過程や援助の知識に基づき発表内容について、自分なりの意見や感想の記述することができる。	(予習) グループ発表における自分の役割の確認し、発表方法等についてリハーサルしておく。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	グループ発表をもとに、乳児保育の内容や方法、環境構成を考え、一日の保育実習を設定し、保育計画を作成する。	演習	グループ発表をもとに自分なりの乳児保育の内容や方法を考え、一日の保育実習を設定した保育計画を作成することができる。	(予習) グループ発表内容を活かした乳児保育の一日の流れや環境構成を考え、保育計画作成の準備をする	45	実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	作成した保育計画の発表をグループ内で発表し、意見交換を通して、作成した保育計画内容を見直し、さらに乳児にとってより快適な環境や保育内容及び方法を考え、計画案に反映させる。	演習 グループディスカッション 個人発表	グループごとの個人発表における他者からの助言や意見を謙虚に受けとめ、反映させた一日の保育計画案を提出することができる。	(予習) 乳児を取り巻く現代の問題についてひとつ取り上げ、グループ発表できるようにまとめる。	45	実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
15	保育園での乳児保育の環境や姿をDVDで視聴する。また、これまでの授業内容を振り返り、今後の課題を発見する。	オンデマンド配信でDVDを視聴し、フィードバックする。 レポート課題の提出	これまでに学修した乳児保育の基本や乳児発達過程と援助の実際について、概ね説明することができる。	(予習) これまでの学修内容を見直し、理解できていない点について確認し、質問事項をまとめる。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力